

心に残った日本の風景

紀行写真家 梅津 基世人



心に残った日本の風景

紀行写真家 梅津 基世人

ウッディープランニング写真集 第5集
「心に残った日本の風景」 2016年11月発行

FUJIFILM



A 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 A

心に残った日本の風景

旅が好きで、自然が好きで、写真が好きで…

いつの頃からか47都道府県全てを旅して撮影しようと決めていました。最後に残っていた沖縄県訪問が終わり、気持ちとしても一区切りつきましたので、一冊の写真集にまとめてみました。自然の風景を中心にしていますが、「風景写真の定義」にはこだわらず、感動したり衝撃を受けたり、自分の心に残ったシーンを選んでいます。

もちろん私が訪問した先は限られた場所だけですし、知りえなかった素晴らしい風景がたくさんあると思います。

「出会いがあれば新しい発見もある」これからもそういう気持ちを持ち続け、あちこち旅しながら素晴らしい出会いを記録していきたいと思っています。

2016年11月

梅津 基世人

北海道

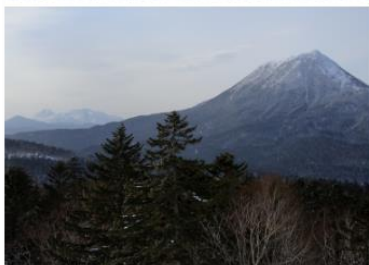
あかんことおあかんだけのよあけ



阿寒湖と雄阿寒岳の夜明け(釧路市阿寒町)

厳冬の阿寒湖。湖のほぼ中央まで歩いて来た時に、全面結氷した湖面に朝日が差し込んできました。本当はフロストフラワー(湖面にできる霜の花)が見たかったのですが、時期が悪かったように見ることはできませんでした。しかし、阿寒湖の夜明けはとても美しく幻想的で、日常とはかけ離れた全く音のない静謐なひと時を過ごすことができました。

双岳台から見た阿寒富士・雌阿寒岳と雄阿寒岳(右)



おほーつくのりゅうひょう



オホーツクの流氷(宗谷郡猿払村)

流氷というと、ブロック状の板のような氷がなだらかに海一面を覆う、幻想的とも言える風景を思い浮かべていましたし、確かに網走あたりの流氷はそうでした。しかし、北に向かうにしたがい氷の厚さも大きさも桁違い、まるで岩が押し寄せてきたかのような様子。ゴーン、ゴーンという岩！がぶつかり合う音も聞こえて、これが本当の流氷の姿なのかと驚きました。

宗谷湾の結氷(稚内市宗谷村)



青森県 おそれざん

恐山 (むつ市田名部宇曾利山)

日本三大霊山(高野山、比叡山)のひとつ、恐山の大会に行ってきました。恐山は、1100年余ほど前に天台宗の慈覚大師により霊山として開山されたと言われています。深い山奥にある宇曾利山湖に面した霊場は、一帯が赤茶けた岩肌に覆われ、あちこちから噴き出す温泉の蒸気や点在する地蔵たち…その荒涼とした風景はまさに霊山の名にふさわしい場所でした。

左:大尽山と宇曾利山湖、極楽浜
下:恐山 菩提寺山門



おいらせけいりゅう



奥入瀬溪流(十和田市大字奥瀬)

奥入瀬は、十和田湖から流れ出る唯一の川で、子ノ口から焼山までのおよそ14kmの溪流が奥入瀬溪流と呼ばれています。溪流沿いに遊歩道が整備されていますが、車道も溪流に沿っており、車での観光も可能です。ただし道が狭く駐車スペースがほとんどないため、ゆっくり見て回りたい方にはおすすりできません。あちこち寄り道しながらのんびり散策の方が、奥入瀬の良さを知ることができると思います。



秋田県

おおゆかんじょうれっせき



大湯環状列石(鹿角市十和田大湯)

大湯環状列石は、2つの環状列石(野中堂環状列石、万座環状列石)を主体とする縄文時代後期(約4,000年前)から中葉(紀元前2,000年～紀元前1,500年頃)の環状列石を中心とした遺跡です。2つの環状列石は墓とみられ、周辺から出土した遺物などから祭祀の施設でもあったと考えられています。中心には入れませんが、目前まで近寄ることができ、その光景はまるで異次元への入口を垣間見るようでした。



岩手県

やけはしりょうがんにゅう



焼走り溶岩流(八幡平市 岩手山)

岩手山の噴火によって吹き出した熔岩が、山肌を流れるままに冷えて固まってきたもので、長さ約3km、幅約1.5kmにわたってこげ茶色の溶岩石が扇状に広がっています。一帯にはほとんど草木がなく、どこまでも岩石が続く荒涼な風景はとても異様ですが、それだけに自然のスケールの大きさと恐ろしさを感じることができます。



山形県

みだがはらしつげん



弥陀ヶ原湿原(鶴岡市羽黒町 月山)

弥陀ヶ原は、月山8合目に広がる湿原。
阿弥陀如来が祀られていたので「弥陀ヶ原」。また神様が御田植えをされたことから「御田ヶ原」とも言われています。
8合目まで車で上れるので、とても気軽にアプローチできます。
多くの池塘(泥炭層の小さな沼)と万年雪に囲まれた標高約1,400mの湿原は、まさに「天空の湿原」でした。



福島県

うらぼんだい そはらこしゅうへん



裏磐梯 曾原湖周辺(耶麻郡北塩原村)

曾原湖は五色沼に隣接するそう大きくない湖ですが、バス釣りが盛んで早朝からたくさんボートが浮かんでいました。
たまたま朝の風景写真を撮りたくて回っていたら、曾原湖の近くでちょうど朝日が差し込むシーンに出会うことができました。
偶然というのも大事な要素ですね。



新潟県

ござれんぼうとおおはくちょう



五頭連峰とオオハクチョウ(阿賀野市水原 瓢湖)

瓢湖という、日本でも有数のハクチョウの越冬地があることを知ってから行きたくて行きたくて… 初めて訪れた時は、駅から歩く道のりの中からたくさんハクチョウの鳴き声が聞こえてきて、興奮しながら足を速めたことを思い出します。五頭連峰という大自然の山を背景に、数えきれないほどの野生のハクチョウたちが飛び交う姿、特に日没時の夕日に輝く姿は何度見ても感動します。

夜明け直前の瓢湖(後ろが五頭連峰)



めおといわ



夫婦岩(佐渡市高瀬)

夫婦岩は七浦海岸にある古事記の国生み神話に由来するとされる大きな二つの岩。向かって右が夫の岩、左が妻の岩で、それぞれ20m以上の高さがあります。

徐々に夕焼けが濃くなる海岸には誰もいなく、ただ花だけがひっそりと咲き誇っています。

波の音もない静寂な夫婦岩。日没前の贅沢なひと時を過ごしました。



栃木県

かくれさんたき たますだれのたき



隠れ三滝 玉簾の滝(日光市瀬尾)

霧降高原にある日光隠れ三滝は、「丁字ヶ滝」「玉簾の滝」「マックラ滝」の三滝を言います。

有名な霧降の滝にほど近いのですが、近くに駐車場がなくアプローチしにくいので、いまひとつメジャーではありません。

しかしこの玉簾の滝は見事。その優美さは必見です。

(1枚に収まりませんでした。左右の滝を合わせて玉簾の滝と言います)

玉簾の滝左側(上の写真は右側)

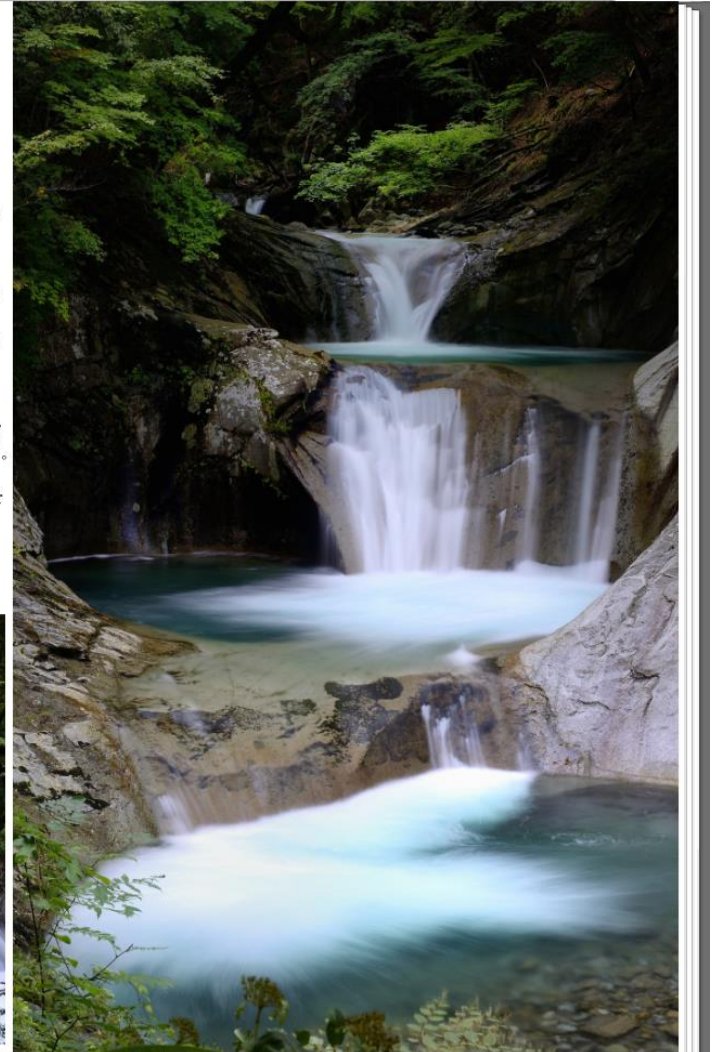
山梨県

ななつがまごだんのたき

七ツ釜五段の滝 (山梨市三富川浦 西沢渓谷)

西沢渓谷は笛吹川の源流にある渓谷です。埼玉県との県境、雁坂トンネルの近くに駐車場があり、そこから約10kmの遊歩道が始まります。

薄茶色をした花崗岩の河床を流れるエメラルドグリーンの溪流はとて美しく、クライマックスの七ツ釜五段の滝は息をのむ美しさです。帰り道は旧森林軌道(トロコ)の線路跡が続き、往時に想いを馳せながら歩いてきました。



東京都

みっどたうんくりすますいるみねーしょん



ミッドタウンクリスマスイルミネーション(港区赤坂)



ミッドタウンには、フジフィルムスクエアがあり、表参道に動いていた頃に良く通いました。(当時は2階もギャラリーで、1階と合わせ3会場あり、テーマの異なる写真が一度に楽しめました)
普段イルミとかはあまり興味がないのですが、せっかくなので裏に(!)回ったら素晴らしい別世界が広がっていました。
いつもは「人混みは嫌いだ！」なんて言っていますが、こういう機会を逃してはいけないと反省した次第です。

あかぼねぼしこうさてん



赤羽橋交差点(港区芝公園付近)

東京タワーの正式名称は日本電波塔。スカイツリーにデジタル放送の送信がバトンタッチされるまで、関東のテレビ電波の主たる送信塔でした。
子供の頃は住んでいた川崎からも近かったためとても身近な存在で、私にとっては昭和の記念塔(シンボル)です。
無性に夜景が見たくなり撮った1枚です。都会に生きる「ヒトデ」のような、赤い光の流れがとても印象的でした。



長野県

たいしょういけとほたかれんぼう



大正池と穂高連峰(南安曇郡安曇村)

遙か昔(!)に訪れたことのある上高地。すっかり記憶も薄れていましたが、あらためて訪れてみました。当時は河童橋周辺までしか散策しなかったと思うのですが、今回は大正池から明神池まで歩いてみました。交通規制があるためシャトルバスに乗り換えたりと少し手間がかかりますが、この素晴らしい山岳眺望はやはり日本を代表するひとつだと思います。

明神池二之池と明神岳



かがみいけ



鏡池(長野市戸隠)

戸隠に行くたびに立ち寄る鏡池。湖面に鏡のように山々の姿を映すのでそう呼ばれていますが、何度行っても「これだ!」と思えるほどの鏡状態に出会えません…いつもそよそよ吹く風が、微妙に湖面を波立たせていました。それでもこの日は夕日に染まる紅葉の山々と湖面が撮れました。ツーリストの私にはこれ以上の出会いはなさそうなので、これで良しとします!(山は左から西岳、本院岳、戸隠山、九頭龍山)

戸隠神社 奥社参道





岐阜県 しらかわこう

白川郷(大野郡白川村)

合掌造りの里、白川郷です。白川郷の合掌造りは、屋根を梁(はり)の上に本を開いたように組み合わせて建築したもので、勾配の急な茅葺きの屋根が特徴になっています。江戸中期から昭和初期にかけて建てられた建物は、古いもので築300年を超えます。川を挟んで野外博物館(合掌造り民家園)がありますが、昔の町並みや建物が再現されており、詳しく見たい方には絶対オススメです。



おおいがわてつどう せんずえき

静岡県



大井川鐵道 千頭駅(榛原郡川根本町)

大井川鐵道。(「鐵道」ではない!)「鉄ちゃん」ではない私でも、「蒸気機関車」に「アプト式鐵道」と聞けば、一度は行かずにいられない場所…。千頭駅ではまるで昭和の中期にタイムスリップしたかのような光景が広がっていました。

また、寸又峽(すまたきょう)なんて、地名でしか知りませんでした、本当に山奥深く、秘境と言ってもいいような素朴な土地でした。

SLにアプト式、現存(そして運行)しているうちに訪れる価値あります。

始発駅から2時間以上かけてやっとアプト式鐵道に着きます



福井県 とうじんぼう

東尋坊(坂井市三国町)

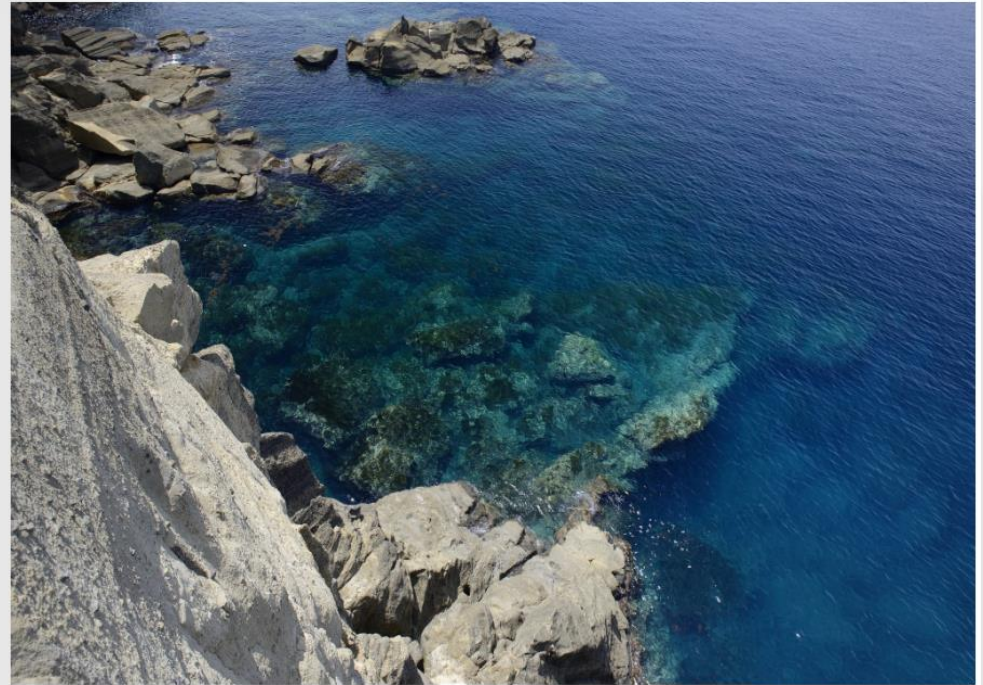
東尋坊というと、私の世代は、自殺の名所という印象。もともとこのいわれは、極悪非道の僧侶・東尋坊を酒に酔わせてこの断崖から突き落としたことからついたそう。以来その頃(4月5日)になると、豪雨と激しい雷がこの地を襲うそうです！

ここでは見事なスケールの安山岩の柱状節理が見られます。柱状節理世界三大絶勝(そういうのがあるのは知りませんでした)のひとつです。



やせのだんがい

石川県



ヤセの断崖(羽咋郡志賀町)

ヤセの断崖は、能登金剛と呼ばれる複雑な海岸線や奇岩が続くエリアにあります。高さ35mの断崖絶壁は近づいただけでも足がすくみます。残念ながら2007年の能登半島地震で崖が10mにわたり崩落して形が変わってしまったそうです。以前の姿を知らないのですが、それでも十分に素晴らしい造形だと思いました。険しい岩々から一歩踏み外すと… 本当に落ちます！





富山県

むろどうだい

室堂平(中新川郡立山町)

標高2,450mの室堂平は、観光・登山の拠点として多くの観光客が訪れます。

眼前には初岳、立山三山があるのですが、この日はあいにく曇り空。

それでも時折雲が切れて山々が顔を出していました。

周辺では、火山活動が続き山が生きていることが実感できる「地獄谷」や、火山湖の「みくりが池」を見ることが出来ます。

左：地獄谷
下：みくりが池

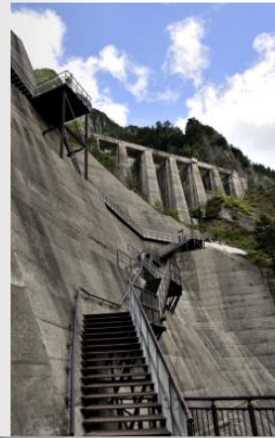


くろべだむ

黒部ダム(黒四) (中新川郡立山町)

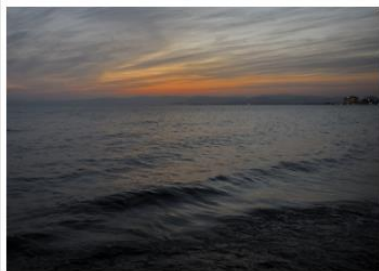
昭和38年に完成し世紀の大事業と言われた黒部ダムは、高さ186m、長さ492mの日本最大のアーチ式ドーム越流型ダムです。

室堂からはトローリーバス、ロープウェイ、ケーブルカーを乗り継いでやっとなど降り着きます。それまでの苦労が大きいせいか、その姿がさらに威容に見えました。(黒部ダムだけでしたら大町側から入れればとても便利です)



滋賀県

びわこゆうぐれ



琵琶湖夕暮れ(長浜市田村町)

滋賀県の面積の1/6を占め、日本最大で最古の湖、琵琶湖。刻一刻と夕闇が濃くなる中、遠く町の灯と漁船の赤い灯が物淋しい。聞こえるのは寄せては返す波の音だけ… 壮大な日没の風景に一人佇み、素晴らしい幻想のひと時を過ごしました。

愛知県

まねきねこ通り
やきものさんほみち

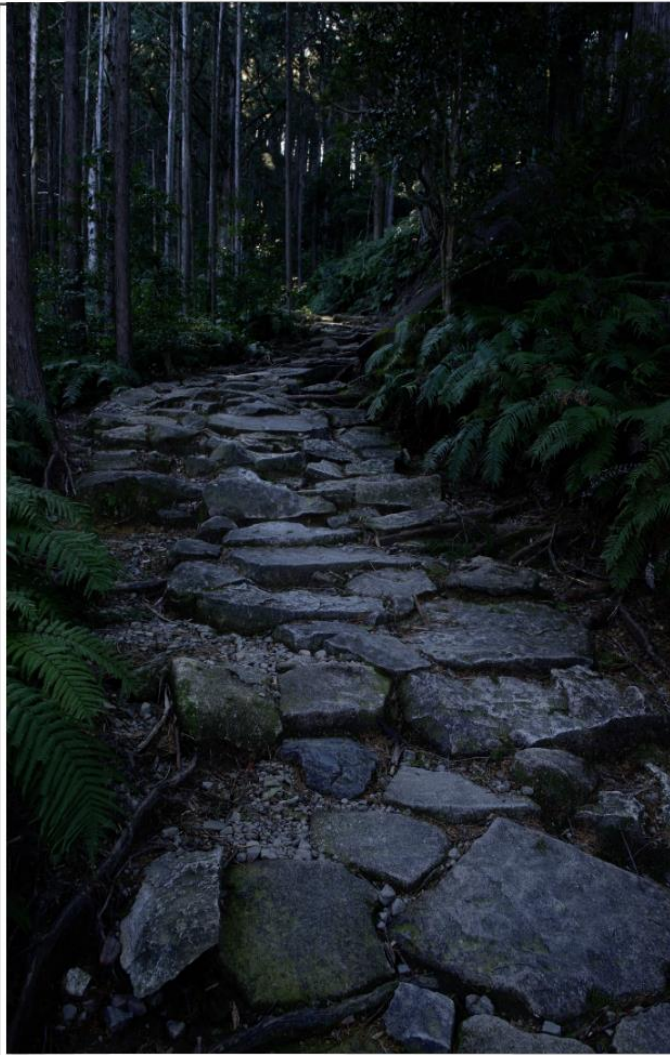
招き猫通り・やきもの散歩道(常滑市栄町)

招き猫通りは、名鉄常滑駅から陶磁器会館に向かう途中にあり、進行方向右側の擁壁にいくつもの陶器の作品が埋め込まれています。どれもとても個性的で見ていて飽きません。

さらにその先の南東方向にある小高い丘の上一帯が、昔の焼物の町を物語る町並み「やきもの散歩道」として整備されており、レンガ造りの窯の煙突や、黒塀の建物、陶器を材料にした坂道など、レトロな雰囲気を楽しみながら回ることができます。

右: やきもの散歩道・瀬田屋周辺
下: 招き猫通りにある作品





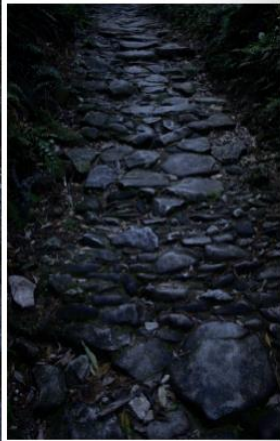
三重県

くまのこどう
まごしとらげ

熊野古道 馬越峠 (尾鷲市～紀北町)

熊野古道とは、熊野三山(熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社)に通じる参詣道の総称。大きく分けて伊勢神宮からの「伊勢路」、高野山からの「小辺路」、大阪方面からの「紀伊路」があります。

馬越峠は尾鷲市と紀北町の境を通る峠で、熊野古道伊勢路の中で最も美しいと言われる石畳が約2kmにわたって続いています。



あかめしじゅうはちたき めのびきだき



赤目四十八滝 布引滝(名張市赤目町)

赤目四十八滝は、奈良県との県境を流れる滝川の渓谷一帯にある滝の総称で、「室生・赤目・青山国定公園」に指定されています。案内看板によると、滝は全部で23ヶ所あり、入口から最奥部までは約4.3kmの道のりになります。

布引滝は高さ30mから絹のように流れ落ちる様が本当に美しく、千手滝はいくつもの筋になって落ちる姿が千手観音に似ていることから名づけられたとも言われています。

千手滝



奈良県

そにこうげん



曾爾高原(宇陀郡曾爾村)

三重県との県境にある標高900mの曾爾高原は、見渡す限りスキの原。
亀山(写真の一番左の山)まで遊歩道(かなり急で登山道のように)があり、スキに囲まれながら周囲を巡ることができます。
中央の色の濃い部分はお亀池。一説には火山の火口とも言われていますが、現在は湿地帯になっています。
秋になると山全体、高原全体が金色に輝きます。これほどのスケールは他では見ることができません。



いしぶたいこふん



石舞台古墳(高市郡明日香村)

「石舞台」とは、天井石の上面が広く平らで、まるで舞台のように見える形からそう呼ばれていますが、実は国内最大級の方墳で、築造は7世紀初め頃、蘇我馬子の墓ではないかと推定されています。
30数個の岩の総重量は約2300トン、特に天井石は約77トンとかなりの重量。内部にも入るとより一層石の巨大さが実感できます。(まるで「墓荒らし」になったような気分でしたが…)
明日香村はいろいろと不思議が多いのですが、中でも石舞台が一番。その存在感には圧倒されます。



内部から見た天井石

京都府

しせんどう

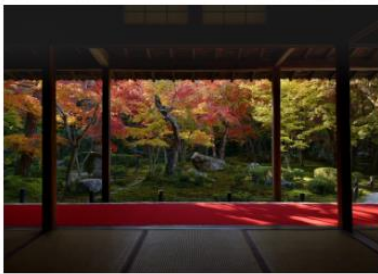


詩仙堂(京都市左京区)

京都ではとても多くの庭園を拝観することができますが、最も心が落ち着き、また躍り騒ぐのが詩仙堂と圓光寺(えんこうじ)です。広い京都の中でも、左京区のほんのわずかな距離にあるこの2つの寺院を好きになったのはとても不思議なのですが…

深緑の詩仙堂、紅葉の圓光寺。このふたつの庭園は私に至高のひと時を供してくれます。

圓光寺庭園(十牛之庭)



あだしのねんぶつじ

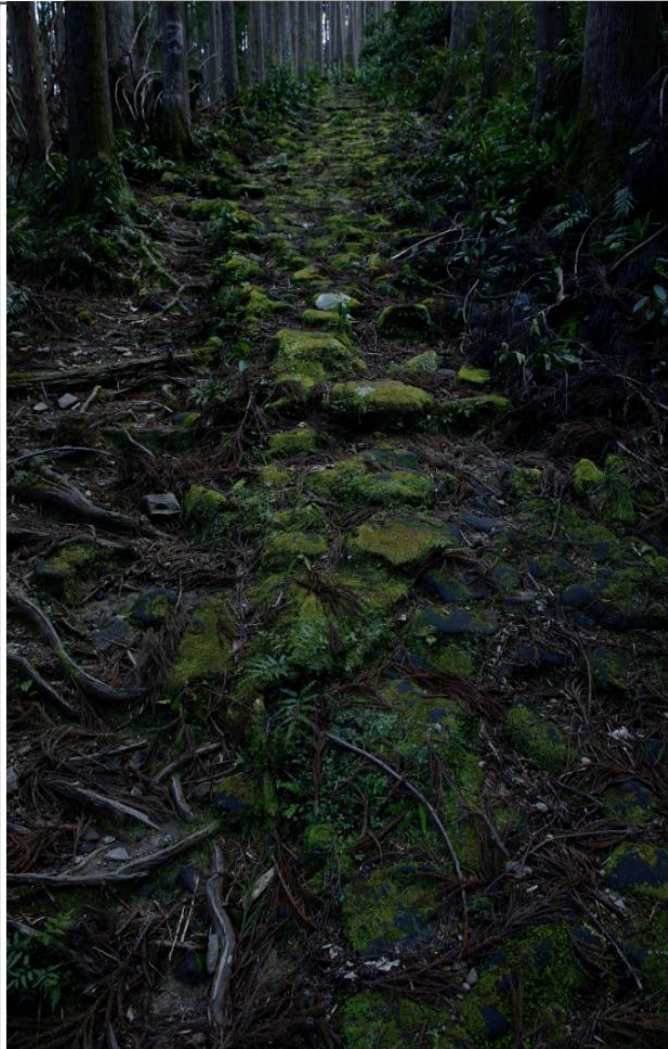


化野念仏寺(京都市左京区)

嵯峨野という何とも風雅なイメージを持っていましたが、奥嵯峨の化野(あだしの)は古来葬送(風葬)の地ということを知って見方が変わりました。境内にある数多くの石仏・石塔は、古来より「あだし」の一带に葬られた人々のお墓で、何百年と経つうちに無縁仏と化したものがここに集められ安置されています。

「西院の河原」と名づけられたこの場所に立つと、古来の人々の情念が伝わってくるかのようです。





和歌山県

くまのこどう
おおぐもとりごえ

熊野古道 大雲取越 (小口～那智熊野大社)

熊野古道のなかでも、とても厳しい山越えのルートになっているのがこの大雲取越。熊野川小口から熊野那智大社に至る道です。入口から30分ほどに、大石の上に熊野の神々が座って談笑したりお茶を飲んだといういわれのある円座石(わろうだいし)があります。

馬越峠とは違い通る人が少ないのか、苔むしとても荒れた石畳が続きますが、それがまた味わい深い趣きになっています。

円座石



こうべこうしんさいいもりあるばーく

兵庫県



神戸港震災メモリアルパーク(神戸市中央区)

メモリアルパークは、阪神淡路大震災によって被災したメリケン波止場の一部(岸壁60m)をそのままの状態に保存し、見学できるように整備した公園です。

あの時…出勤した会社のTVで、ライブで見た忘れることのできない震災の風景。その傷跡を目の当たりにして記憶がよみがえり、しばし茫然としました。



広島県

みせん さんちよう



弥山 山頂(廿日市市宮島町)

弥山(みせん)は宮島(厳島)の中央にそびえる標高533mの山。原始林が残され、また多く存在する奇岩怪石は花崗岩が風化して生まれたもので、この奇観が山岳信仰の礎になっていると言われています。
山頂にも神が鎮座するとされる盤座石を始め多くの巨石が立ち並び、異様な雰囲気を感じ出しています。晴れていれば展望台からは四国や九州の連山が遠望でき、瀬戸内海の島々と合わせ素晴らしい眺望が得られます。

盤座石(右奥の岩)



山口県

あきよしどう



秋芳洞(美祿市秋芳町)

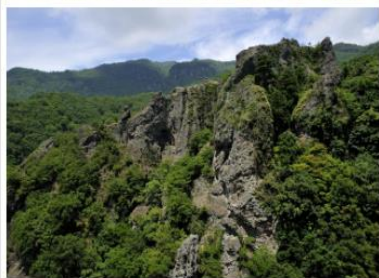
日本三大カルストのひとつ、秋吉台(あきよしだい)。その地下100mに広がる巨大な空間、大鍾乳洞が秋芳洞(あきよしどう)。
入ってびっくり！そこはまさに「地下基地」か「地底帝国」といった趣きで怪しき全開！あちこちの鍾乳洞に行きましたが、ここほど地下空間が広く大きい所はなく、スケールとしては個人的にナンバーワンです。
百枚皿と呼ばれる、まるで地底のパムッカレ(?)もとても見事でした。

まるで饅頭のような地底湖



香川県

かんかけい



寒霞溪(小豆郡小豆島町)

小豆島のほぼ中央に位置する寒霞溪は、日本三大溪谷美(「美」がつく)のひとつです。1300万年前の火山活動によって多くの奇岩怪石が生まれ、また眼下の瀬戸内海の島々の景観と合わせ絶景となっています。山頂駅からロープウェイで下っていきませんが、かなり早いスピードで大きな岩々の間をすり抜けるのでスリル十分。ただ、じっくり鑑賞する間もなくすくに通り返してしまうのが残念です…

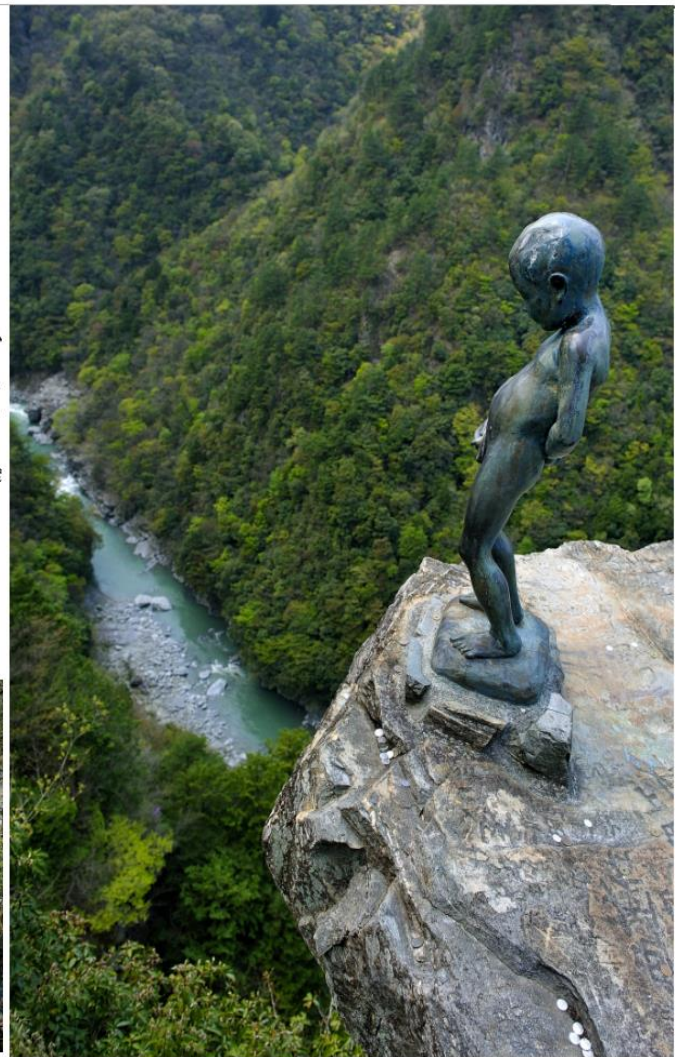
徳島県

いやけい
かずらばし

祖谷溪・かずら橋 (三好市池田町・善徳)

愛媛県境に近い祖谷溪(いやけい)は、深く切り込んだV字の溪谷。エメラルドグリーンの中谷川を見下ろす200mの断崖の上に飛び出した岩には、名物の小便小僧が立っています。かずら橋は、日本三大奇矯のひとつで、シラクチカズラで編んだ吊橋で、3年に一度かけ替えられます。とてもワイルドな吊り橋で、揺れて揺れて大人でも揺まりながらでないと渡れません。

右:祖谷溪 小便小僧
下:かずら橋



高知県

はくさんどうもん



白山洞門(土佐清水市足摺岬)

足摺岬は、四国最南端にある岬で、黒潮の本流が直接打ち寄せる場所としては国内唯一となっています。

白山洞門は、岬の先端にある海食洞で、穴の大きさは高さ16m、幅17m、奥行き15m。花崗岩でできた洞門では日本最大級。一体どれだけの年月があればこうなるんだろう… 自然の時間の長大さを感じさせられました。

足摺岬と灯台



たつしがいがん



竜串海岸(土佐清水市三崎)

竜串海岸は、砂岩が波食や風食を受けて形成された壮大な風景が広がる海食台地です。大竹・小竹と呼ばれる竹のように一直線に並んだ丸みを帯びた岩や、パイプと呼ばれる生痕化石、らんま石・かぶと石・鯉の滝登りなどの名称で呼ばれる奇岩が点在しています。

直接岩の上を歩けるので、不思議な痕跡を目の当たりにすることができます。

竜串海岸全景(右端はらんま岩)



福岡県

ひらおだい



平尾台(北九州市小倉南区)

平尾台は、山口県秋吉台と同じく日本有数のカルスト台地。
地表に露出している石灰岩(※)が羊の群れのように見えることから、羊群原(ようぐんばる)と呼ばれる独特の風景が広がっています。
小倉から車でわずか30分ほどにこんな大自然があったなんて… 驚きました。
(※)石灰岩が雨水により溶かされたため、表面が滑らかになっています。

所々に見られる「ドリーネ」(石灰岩が溶けて窪地になった場所)

せんぶつしょうにゆうどう

千仏鍾乳洞 (北九州市小倉南区)

平尾台にある鍾乳洞のひとつが、この千仏鍾乳洞。入口の看板に「電気照明は900mまで」「480mまでは靴のまま入洞可能」とあり、一体どうなっているんだと思いつつ裾をまくり裸足になって無料の貸サンダルを履き入りました。

まあ驚きました。普通に入れる一番広い鍾乳洞が秋芳洞なら、ここが一番狭い鍾乳洞だと思います。鍾乳洞に興味がなくとも絶対おすすめ。下手なテーマパークよりスリルがあって楽しめます！

右:まるで川! 長靴が必須!
下:この幅を通れと…



熊本県

あそさん



阿蘇山(阿蘇市黒川)

今まで行った中で「一番良かった場所は？」と聞かれたら、ためらいなく「阿蘇山」と答えています。あるがままの自然が大好きですが、阿蘇山とその周辺にはとても日本とは思えない風景が広がっています。時には荒涼、時には豊穡。豊かな自然が体感できる場所、それが阿蘇だと思います。

※阿蘇山は、世界最大級380k㎡のカルデラと、南北25km、東西18kmの雄大な外輪山を持つ火山。現在、2013年から繰り返し入山規制がかけられています。



鹿児島県

さくらじま きただけ



桜島 北岳(御岳)(鹿児島市桜島)

鹿児島のシンボルといわれる桜島は、北岳(御岳)・中岳・南岳と3個のコニーデ式火山が相接している複合活火山で、大正3年の噴火で大隅半島と陸続きになりました。(現在ほとんどの噴火は南岳の昭和火口と山頂火口で起きています)鹿児島市内からはフェリーで15分。そこから山に向かうと湯之平展望所があります。正面に見える北岳(御岳)は標高1,117m。目前に迫ってきます。

北岳直下の様子(ガスのため北岳山頂は見えていません)

宮崎県

せきのおのたきとおうけつぐん



関之尾の滝と甌穴群(都城市関之尾町)

都城市を流れる庄内川の上流に、川一面に広がる甌穴(小石や水流で川床の岩盤が削られ穴が開いたもの)群があります。長さ600m、最大幅80mにもなる大規模な甌穴群は、今まで見たことがありません。甌穴群のすぐ下流には幅40m高さ18mの関之尾の滝(雄滝)があり、吊り橋の上から甌穴群と迫力のある滝の両方が眺められるようになっています。



河床に広がる甌穴群



佐賀県

たてがみいわ
ななつがま

立神岩・七ツ釜 (唐津市湊町・屋形石)

佐賀県の北端、唐津・玄海です。立神岩も七ツ釜も、日本有数の巨石・奇岩だと思います。立神岩は、玄武岩の断崖(だんがい)が玄界灘の波によって浸食されてできたもので、この辺りの海は九州のサーフィン発祥の地だそうです。

七ツ釜は立神岩の北西に位置し、深くえぐられた7つの洞窟が並列したもので、最大の穴で間口が3m、奥行きが110mもあります。連続したきめ細やかな柱状節理は本当に素晴らしいです。

左: 立神岩
下: 七ツ釜の洞窟と柱状節理



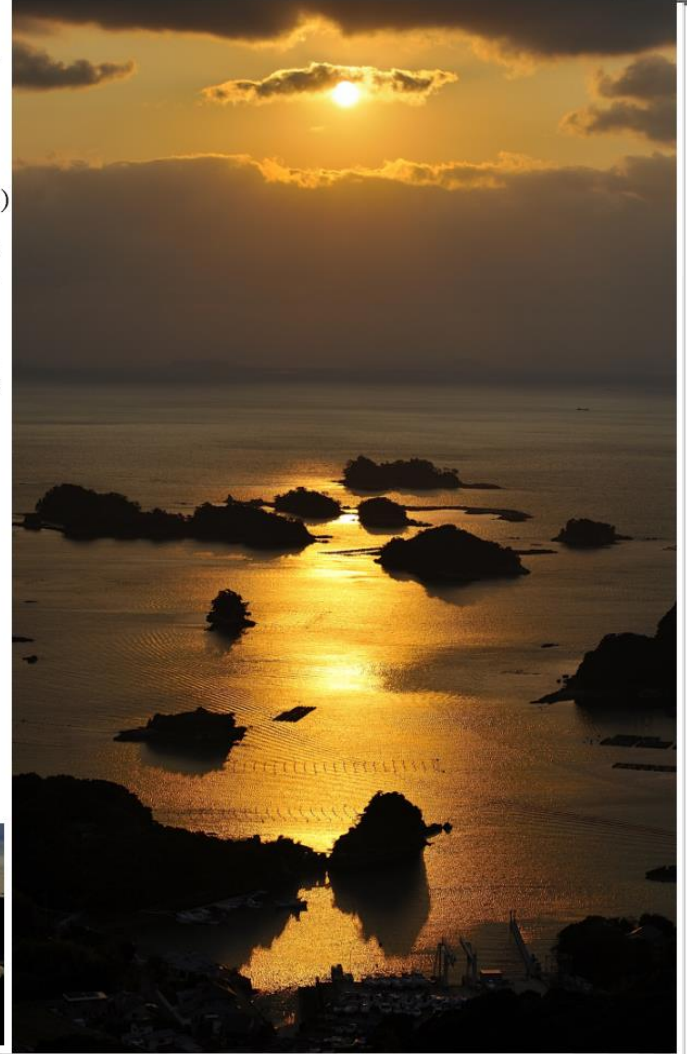
長崎県

くじゅうくしまのゆうやけ

九十九島の夕焼け (佐世保市・石岳展望台)

九十九島を望む展望台のうち、最も夕焼けが美しいと言われるのが、石岳展望台。道路が狭く大型バスが入らず、また駐車場からも歩いて登るため団体あまり来ない静かな展望台です。(こんなに素晴らしい夕焼けなのに、誰もいませんでした)

金色の空と海が刻一刻と見せる変化は素晴らしい、音もない世界で静かに佇み見入っていました。





抜海港のゴマフアザラン(北海道稚内市)

「ああ、日本にもこんな風景があるんだ…」
ただひとり真冬の極寒の岸壁で、体も指も凍えながら、野生のゴマフアザランを見た時の感動は今でも忘れられません。
雄大な風景に出会えたことに感謝しながら、シャッターチャンスを狙い続ける…
そして、まるで氷山のような岸壁を背景にちよこつと顔を出したアザラン。
私のお気に入りの1枚です。



〈撮影者プロフィール〉

梅津 基世人 Umezu Kiyoto

1961年神奈川県川崎市生まれ／群馬県伊勢崎市在住

WOODY PLANNING代表／紀行写真家

Photo Gallery : <http://www.woodyplanning.com/gallery.html>